

なが さき けん し てい てん ねん き ねん ぶつ  
長崎県指定天然記念物

てら し ま た ま い し お う け つ  
寺島玉石甌穴



寺島航空写真

寺島は、宇久島の南西に位置する宇久島の属島です。島の全域が玄武岩溶岩でできた火山島で、寺島港付近の地形は、かつての噴火口の様子をよく留めています。寺島はここから流れ出した溶岩で形成されたと考えられます。溶岩は粘性の低いサラサラしたものだったと考えられており、島全体は緩やかな地形となっていますが、各所に荒々しい溶岩地形を見ることができます。

【見学のお知らせ】

満潮時を除き、常時見学可能

◎アクセス

神浦港から寺島港まで、船(みつしま)で約7分  
寺島内は徒歩

※寺島とノリ瀬の間は、干潮時には歩いて渡れます。



◆問合せ先 佐世保市教育委員会 社会教育課 TEL (0956)24-1111

寺島の北西海岸にある「ノリ瀬」も、そのような溶岩地形の一つです。このノリ瀬の北側に、「寺島玉石甌穴」があります。「甌穴」とは「ポットホール」とも呼ばれ、岩の割れ目や窪みに硬い石がはまり、その石が波の作用などによって回転し、研磨を繰り返すことでできる円筒形の深い穴のことです。

寺島玉石甌穴の大きさは、直径約87cm、深さは約160cmあり、底には甌穴の主である玉石が鎮座しています。玉石は、直径約59cmで、ほぼ球形をしています。甌穴の中は常に海水で満たされており、普段は玉石が動くことはありません。しかし、荒天の時など激しい波が打ち寄せるときには玉石が転動し、さらに深く穴を穿ち続けていると考えられます。



城ヶ岳から望んだ寺島



ノリ瀬付近の溶岩地形(矢印が甌穴の場所)



寺島玉石甌穴全景

岩の割れ目に石がはまり、研磨を繰り返して現在のような深い穴を穿つまでには、多くの偶然と様々な条件が揃ったうえで、気が遠くなるような時間が必要になります。そのため、玉石甌穴は極めて珍しい自然現象であり、悠久の歴史と共に生き続けている文化財といえます。



寺島玉石甌穴標柱とノリ瀬に上がる波柱